

医薬品と保健的食品の適切な使用を支援する情報紙

ふあるま・ねっと通信

第28号 2012/5

ふあるま・ねっと の ”ふあるま” はラテン語で薬を意味します

発行：特定非営利活動法人 ふあるま・ねっと・みやぎ

Fax：022-251-0767

e-mail：pharm-nm@js3.so-net.ne.jp

http://www.geocities.jp/pharmanet_myg/

・・・ 生食用牛肉提供者を調査 施設9割が不合格 ・・・

厚生省は全国の飲食店や食肉処理業、販売業計445施設への立入調査で、93.9%が新たな規格基準に適合していなかったと発表した。調査結果によると99.0%が「肉の表面の加熱殺菌」など、新たに義務付けられた加工処理を経ていない肉を調理していた。なお、不適合の施設には生食用牛肉の提供を中止するよう、都道府県を通じて指導した。また、調査研究で牛肝臓内部に腸管出血性大腸菌が確認されたことから、3月の部会では「牛肝臓の生食を禁止する方向で手続きを進めることが必要」とする意見をまとめた。それに沿って規格基準の策定にとりかかっており、7月頃には公布・施行したい考えである。生食には十分に注意しましょう。

紙上講座 統合医療について(その7)

最近、癌の治療において健康食品(アガリクス、プロポリスなど)が注目されています。医学的治療により治る見込みがない場合、再発の危険がある場合に、効果が明らかでない不確実な治療であっても、民間療法などを受けようとする人が多いようです。

近年では、現代西洋医学と民間医療などを組み合わせて治療を行う「統合医療」が推進されつつあります、そこで私たちがどのように向き合い、利用したらよいのか考えてみましょう。

7 補完代替医療の利用実態は

2005年に発表されたがんの医療現場における補完代替医療の実態調査によれば、44.6%のがん患者が補完代替医療を使っていることが分かりました。そして、利用していることで効果を実感できているかどうかについては次の表から70%の人が「分からない」と回答しています。また、「効果あり」という人についても、実際にがんが小さくなったという意味ではなく、何かメリットがあったと自分が実感できたという割合が22%であったという意味です。客観的な評価

で効果があったという訳ではありませんので、誤解しないようにしてください。

補完代替医療の効果について 実感できているか？

効果あり	22.0%
効果なし	6.0%
分からない	70.0%
無回答	2.0%

補完代替医療を利用して 副作用はあったか？

副作用あり(吐気、下痢、便秘、 皮疹、肝機能異常など)	5.0%
副作用なし	56.0%
分からない	29.0%
無回答	10.0%

その一方では副作用について5%の人が「副作用あり」と答えています。具体的な症状については、そのほとんどが健康食品であることから、吐気、下痢、便秘などの消化器症状を訴えた人が多いことが特徴です。判断は皆さんにゆだねられています。利用に当たっては、経済的負担も大事なことです。

ベニコウジは、中国などで古くから食品の着色料などとして使用されてきました。現在、コレステロールを下げるといわれ、健康食品としても利用されています。

ベニコウジは、モナコリンというスタチン系化合物を含んでいます。スタチン系薬物は脂質異常症の治療薬として、医療でも使用されています。

2012年5月、ベニコウジのコレステロール低下作用について論文のまとめが報告されました。ヒトでの22の試験の被験者6520名のデータが解析され、ベニコウジ摂取群で全死亡率の低下、心血管死の低下、心筋梗塞発症率の減少が認められました。また、血中の総コレステロール・LDLコレステロール・中性脂肪が、偽薬群に比べ、ベニコウジ群で低下したとのことです。

安全性に関しては、胃炎、胃部不快感、肝機能検査値の上昇などが報告されています。また、ベニコウジに含まれているモナコリンは医療用スタチン系薬剤と同じような横紋融解症が起きる可能性があります。発現頻度は高くはないと考えられますが、注意が必要です。スタチン系薬剤により動物実験で胎児の催奇形性が報告されているので妊娠中は、摂取を避けましょう。授乳中の十分なデータがないので、避けたほうがよいでしょう。

コレステロールを下げる薬で治療中の方は、同様の成分が重なり副作用を生じやすくなるので、併用は避けましょう。また、他にも医療用の薬剤と飲み合わせが良くない場合があるので、薬物治療中の方は、ベニコウジ摂取するとき、薬剤師に相談してください。健康食品によく含まれている西洋オトギリソウ(セントジョーンズワート)も併用しないようにしましょう。

米国の調査で市販のベニコウジを調査したところ、モナコリンが表示よりも著しく少ない製品が多かったという報告があります。購入時の注意も必要です。

ベニコウジのはたらき

【期待される機能性】

- コレステロール低下
- 中性脂肪低下
- 血圧低下(データは十分ではない)

【安全性】

- 経口で短期間の摂取は安全
- 長期の安全性はデータが十分ではない
- 胃炎、胃部不快感、肝機能検査値上昇、横紋筋融解症などに注意

【相互作用】

- 医療用薬剤との併用は注意が必要
- コレステロールを下げる薬と併用しない
- 西洋オトギリソウとの併用注意

【摂取に注意が必要な人】

- 妊娠中の方は摂取しないこと
- 授乳中の方は摂取しないほうが良い
- 小児の摂取は危険

ふあるま・ねっと・みやぎの活動

1. 出前講座・・・地域グループ、学校関係、各種施設などの小規模な集まりに、ご希望に応じた「はなし」を出前いたします。(1時間程度)
2. 各種イベント、講演会への講師派遣(1~2時間)
3. ふあるま・ねっと・みやぎが企画するイベント：公開フェア、研修会 など
☆講座、講演の内容(メニュー)および詳細は事務所に問い合わせるか、「ふあるま・ねっと・みやぎ」ホームページをご覧ください。
〔問合せ、申込先〕 ☎981-8002 仙台市泉区南光台南3-6-21
TEL・FAX：022-251-0767 e-mail：pharm-nm@js3.so-net.ne.jp
(グループまたは団体名、代表者名、電話番号、資料送信先FAX番号を記入してください)
ホームページ： http://www.geocities.jp/pharmanet_myg/
4. 会員・・・会の趣旨に賛同する方(詳細はお問い合わせください)
会員特典・・・情報、資料等の無料提供(印刷実費、送料のみ有料) 研修会への参加費割引など